# 宿泊約款

- 第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによ るものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般的に確立された慣習によるもの
- 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約 が優先するものとします。

#### 【宿泊契約の申込み】

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者氏名
- 宿泊日及び到着予定時刻
- 宿泊料金 (原則として別表第1の基本宿泊料による。)
- (4) その他当館が必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し 出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

#### 【宿泊契約の成立等】

- 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾し なかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、申込金として、宿泊期間の基本宿泊料を、当館が指 定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第 18 条の規定を適 用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規 定による料金の支払いの際に返還します。
- 第 2 項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契 約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨 を宿泊客に告知した場合に限ります。

## 【申込金の支払を要しないこととする特約】

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととす る特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及 び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

#### 【宿泊契約締結の拒否】

第5条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をす るおそれがあると認められるとき。 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
- (4)
  - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定す る暴力団(以下「暴力団)という。| 同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員)という。)、 暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
  - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (8)
- 山梨県旅館業法施行条例第3条の規定する場合に該当するとき。

## 【宿泊の契約解除権】

- 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。 第6条
- 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条 第 2 項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支 払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。) は、別表第 2 に掲げるところにより、 違約金を申し受けます。ただし、当館が第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあっては、その特約に 応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に 告知したときに限ります。
- 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 5 時(あらかじめ到着予定時刻が明示されてい る場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客 により解除されたものとみなし処理することがあります。

## 【当館の契約解除権】

- 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがある と認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
- 暴力団、暴力団員、暴力団進構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
- 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (3)
- 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- 山梨県旅館業法施行条例3条の規定する場合に該当するとき。
- 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火 (8) 災予防上必要なものに限る。) に従わないとき。
- 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けてない宿泊サー ビス等の料金はいただきません。

## 【宿泊の登録】

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- 宿泊客の氏名・年令・性別・住所・電話番号及び職業
- 外国人にあっては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日。尚、旅券は複写し保管いたします 出発日及び出発予定時刻
- (3)
- その他当館が必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る 方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

## 【客室の使用時間】

- 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後2時から翌朝11時までとします。ただし連続して 宿泊する場合においては、到着日及び出発日と滞在中の清掃作業時間を除き、終日使用することが
- 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。但し、当日の客室予約状況により、時間外の客室 の使用に応じないことがあります。
- 超過 1 時間までは、お一人様 3,000 円以上 (サービス料別・税別) 超過 2 時間までは、お一人様 6,000 円以上 (サービス料別・税別)
- 超過3時間以上は、宿泊代(本来出発予定だった日の正規料金を適用)の100%(サービス料別・税別)

#### 【利用規則の遵守】

第 10 条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。 【営業時間】

第11条 当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けの

- ご案内、館内の掲示等でご案内いたします。
  - フロント・キャッシャー等サービス時間:
  - 門限 午前 0 時 30 分

  - □ フロントサービス 午前 8 時〜午後 10 時 ハ 両替サービス ※但し、外貨の両替はできません 午前 8 時〜午後 10 時 ) 飲食等 (施設) サービス時間:
- (2)

- イ 朝食 午前 7時 30 分~午前 8時 30 分 (食堂)
  □ 昼食 午後 12 時~午後 12 時 30 分 (食堂)
  ハ 夕食 午後 5 時 30 分~午後 7 時(客室または食堂)
- 附帯サービス施設時間:備え付けのご案内、館内の掲示等をご参照ください。
- 前項の時間・場所は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、 適当な方法をもってお知らせします。

#### 【料金の支払い】

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等 これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っ ていただきます。
- 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合に おいても、宿泊料金は申し受けます。

### 【当館の責任】

- 第 13 条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に 損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由による ものでないときは、この限りではありません。
- 当館は、消防機関から防火基準点検済証を受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、 旅館賠償責任保険に加入しております。

## 【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

- 第14条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同等の 条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
  - 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償 料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないこと について、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

#### 【索託物等の取扱い】

- 第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が 生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現 金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は3万円を限度としてその損害を賠償します。
  - 宿泊客が当館内にお持込みになった物品又は現金並びに、貴重品について、フロントにお預けに ならなかったものに関しては当ホテルの故意又は重大な過失がない限り、滅失、毀損等の損害が 生じても当館は一切の責任を負いかねます。

## 【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

- 第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。但し、 状況により客室へ事前に届けておく場合があります。
  - 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合は、所有者の指示がない又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて7日間当館にて保管し、 その後貴重品については最寄りの警察署へ届け、その他の物品については処分させていただきま す。(飲食物・新聞・雑誌等に関しては即日処分とさせていただきます) 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合
- にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

## 【駐車の責任】

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所 をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管 理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。 【宿泊客の責任】

-第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を 賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金の算定方法(第2条第1項及び第12条第1項関係)

MAN I BUILD OFF CAME AND										
		内 容								
宿泊客が支払うべき総額	宿泊 料金	①基本宿泊料 (室料 + 朝・夕食料) ②サービス料 (①×10%)								
	追加 料金	③追加飲食(朝・夕食以外の飲食料)及びその他の利用料金 ④サービス料 (①×10%)								
	税金	イ 消費税 ロ 入湯税								

備考 1. 基本宿泊料は別に掲示する料金表によります。

1. 金空間は合わらがにつなります。
2. 子供料金は小学生以下に適用し、大人に準ずる食事と寝具を提供したときは大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供したときは50%、寝具のみを提供したときは4,000円(税別)をいただきます。寝具及び食事を提供しない幼児については、 館内施設利用料として、1名2,000円(税別)の実費を申し受けます。

## 別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

	不泊	当日	前日	2 日 前	3 日 前	5日前	6 日 前	10 日 前	14 日 前	30 日 前	60日前
14名まで	100%	100%	100%	50%	50%	50%	30%	30%	-	-	
15~ 30 名まで	100%	100%	100%	80%	80%	80%	50%	50%	30%	20%	-
31~100名まで	100%	100%	100%	80%	80%	80%	50%	50%	30%	20%	10%
101名以上	100%	100%	100%	100%	100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%

- (注) 1.%は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
  2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数分の違約金を収受します。
  3. 団体客 (15 名以上) の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10 日前 (その日より後に申込をお引受けした場合にはそのお引き受けしたり における 宿泊人数の10% (端数がでた場合には切り上げる。) にあたる人数については、違約金はいただきません。但し、前日及び当日の減員については、違約金を収受します。

## **ACCOMMODATION**

[Scope of Application]
Article 1.1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan / Hotle and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions, And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and / or generally accepted practices.

2 In the case when the Ryokan / Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

[Application for Accommodation Contracts]
Article 2.1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Ryokan / Hotel shall notify the Ryokan / Hotel of the following particulars:

(1) Name of the Guest (s):

(2) Date of accommodation and estimated time of arrival:

(3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No.1);and

(4) Other particulars deemed necessarily by the Ryokan / Hotel.

2 In the case when, the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

[Conclusion of Accommodation Contracts, etc.]

Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

[Conclusion of Accommodation Contracts, etc.]

Artcle 3.1 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Ryokan / Hotel has a duly accepted the application as stipulated in the preceding Article, However, the same shall not apply when it has been proved that the Ryokan / Hotel has not accepted the application.

2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Ryokan Pay a basic room charge at the staying period by the day that the hotel specifies.

3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Ryokan / Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Ryokan / Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

[Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit]

Article 4.1 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Ryokan / Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2 In the case when the Ryokan / Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be construed as that the Ryokan / Hotel has a accepted a special contract

following cases:
(1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms

| Refusal of Accommodation Contracts|
Article 5. The Ryokan / Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

(1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.

(2) When the Ryokan / Hotel is fully booked and no room is available,

(3) When the Ryokan / Hotel is fully booked and no room is available,

(3) When the Ryokan / Hotel is fully booked and no room is available,

(3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct insied in a manner that will contraven the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.

(4) When the Guest seeking accommodation is deemed to meet one of the following criteria:

a) Is an organized crime group as stipulated in Article 2 Item 2 of the Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Law No. 77, 1991; hereafter an "organized crime group,") a member of any similar type of group, a person with ties to such a group, or a person connected to any other anti-social forces, as stipulated in Article 2 Item 6 of the same act.

(5) Is a corporation or other organization whose business activities are supported by an organized crime group or organized crime group members.

(5) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.

(7) When violent demands are being made on the facility, or when the facility is being asked to assume an unreasonable burden with regard to the Guest's accommodation.

(8) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.

(9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.

(9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.

(9) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.

(9) When the Ryokan / Hotel is unable to provide accommodation due to

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Ryokan / Hotel on the day of

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Ryokan / Hotel on the day of accommodation:

(1) Name, age, sex, address, telephone number and occupation of the Guest (s):
(2) For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan: The passport is copied and kept.
(3) Date and estimated time of departure: and
(4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan / Hotel.
In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

credentials shall be shown in auvairue at the street of the paragraph.

[Occupancy Hours of Guest Rooms]

Article 9.1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Ryokan / Hotel from 2 p.m. to 11 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodation continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2 The Ryokan / Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows: It might not be according to the guest room reservation status on that day according to the guest room use for overtime.

(1) Up to 1 hour: from 3,000 yen up each person (plus service charge and tax)
(2) Up to 2 hours: from 6,000 yen up each person (plus service charge and tax)
(3) More than 3 hours: 100% of the overnight room charge (plus service charge and tax). The regular room price for the day of the original intended departure date shall apply.

[Observance of Use Regulations]

Article 10. The Guest shall observe the Use Regulations established by the Ryokan / Hotel, which are posted within the premises of the Ryokan / Hotel.

[Business Hours]

Article 11.1 The business hours of the main facilities, etc. of the Ryokan / Hotel are as follows. Specific business hours for other facilities, etc. are posted on site and on signs throughout the facility.

(1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.

A Closing time: 12:30 a.m.

B Front service: 8 a.m. to 10 p.m.

C Money changing service: 8 a.m. to 10 p.m. (Foreign currency exchange services are not available.)

(2) Service hours (at facilities) for dining, drinking, etc.

A Breakfast: 7:30 a.m. B. 8:30 a.m. (dining room)

B Lunch: 12:00 p.m. to 12:30 p.m. (dining room)

C Dinner: 5:30 p.m. to 7:00 p.m. (guest rooms or dining room)

(3) Service hours of availlary facilities: See posted notices and other facility signage.

2 The hours and locations indicated above are subject to change when circumstances require. The Ryokan / Hotel will notify Guests of such changes via the appropriate channels.

[Payment of Áccommodation Charges] Article 12.1 The breakdown of the Accommodation Charges, etc.that the Guest shall pay is as listed in the

2 The hours and locations indicated above are subject to change when circumstances require. The Ryokan / Hotel will motify Guests of such changes via the appropriate channels.

[Payment of Accommodation Charges]

Article 12.1 The breakdown of the Accommodation Charges, etc.that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No.1.

2 Accommodation Charges, etc.as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Ryokan / Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Ryokan / Hotel.

3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities which have been provided for him by the Ryokan / Hotel and are at his disposal

[Liabilities of the Ryokan / Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Ryokan / Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and / or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Ryokan / Hotel is not liable.

2 Even though the Ryokan / Hotel has received the "PASS MARK" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Ryokan / Hotel is covered by the Ryokan / Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of equal standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest in Article 14.1 The Ryokan / Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of equal standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest in Cardinal Provide Contracted Rooms]

1 Article 13. The Ryokan / Hotel shall, under unable to provide contracted rooms, arrange accommodation o

The Guest shall compensate the Ryokan / Hotel for the damage caused through intention or negligence on the park of the Guest.

Attached Table No.1
Calculation method for Accommodation Charges
(Ref.Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents							
Total paid	Accommodation Chanrges	(1) Basic Accommodation Charge (Room Charge+Breakfast & Dinner) (2) Service Charge ((1)×10%)							
Amount by the G	Extra Charges	(3) Extra Meals & Drinks(other than Breakfast and Dinner) and Other Expenses (4) Service Charge ((3)×10%)							
nt to be Guest	Taxes	a. Consumption Tax b. Meals and Hotel Tax c. Hot Spring Tax(only in spa districts)							

Remarks:

1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted at the Front desk.

2. A child's charge applies to children attending elementary school of agesup to 12 years of age) and under, 70% of the adult charge shall be required when meals and bedding comparable to those for the adult are provided to such children, 50% shall be required when meals and bedding for children are provided and 4,000yen(excluding tax) when only bedding for children is provided. For an infant to whom meals and bedding are not provided, shall be charged 2,000yen(excluding tax) when use facilities in the Ryokan / Hotel.

Attached Table No.2 Cancellation Charge for Ryokan (Ref.Paragraph 2 of Article 6)

Date when Cancellation of Contract is		Ac commo dation Day	Prior to Accommodation Days									
Contiaciec Number of Guesis	Show		1 Day	2 Day	3 Day	5 Day	6 Day	10 Day	14 Day	30 Day	100 Day	
1 to 14	100%	100%	100%	50%	50%	50%	30%	30%	-	-		
15 to 30	100%	100%	100%	80%	80%	80%	50%	50%	30%	20%		
31 to 100	100%	100%	100%	80%	80%	80%	50%	50%	30%	20%	10%	
101 and more	100%	100%	100%	100%	100%	100%	80%	50%	30%	20%	10%	

Remarks:

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.

2. When the number of days contracted is shortened shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.

3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10days prior to the occupancy (when accepted less than 10days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number. When the number of people decreases on the day before or that day, it costs the cancellation charge.